

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL : 019-623-5575
FAX : 019-623-5576

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

工場・倉庫のDX化推進とは？

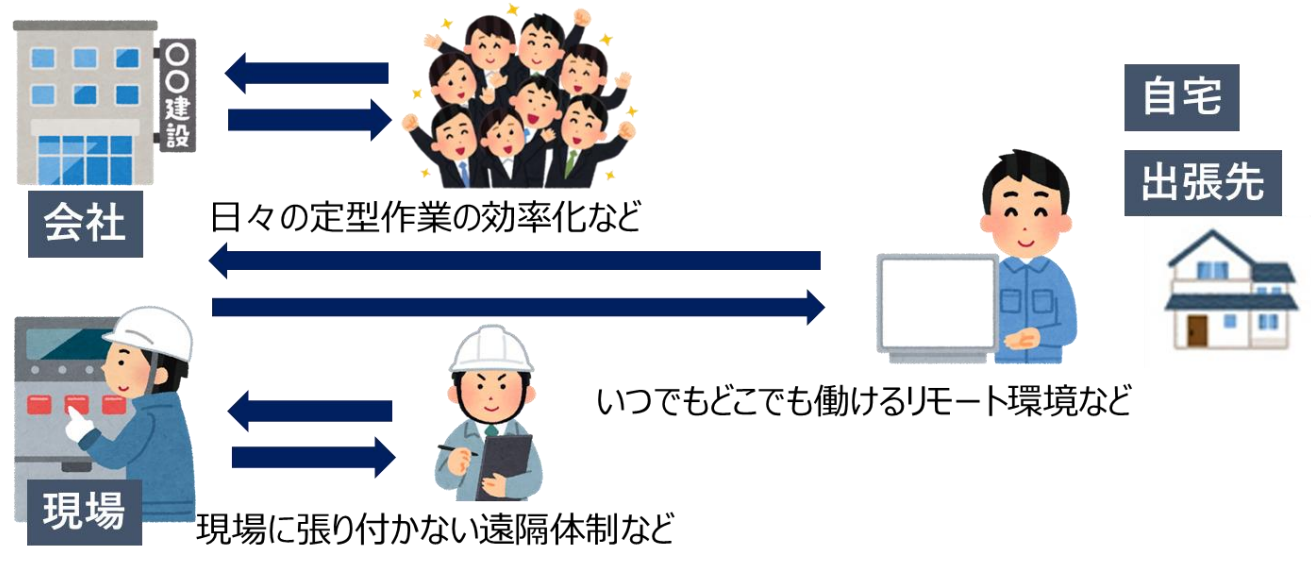
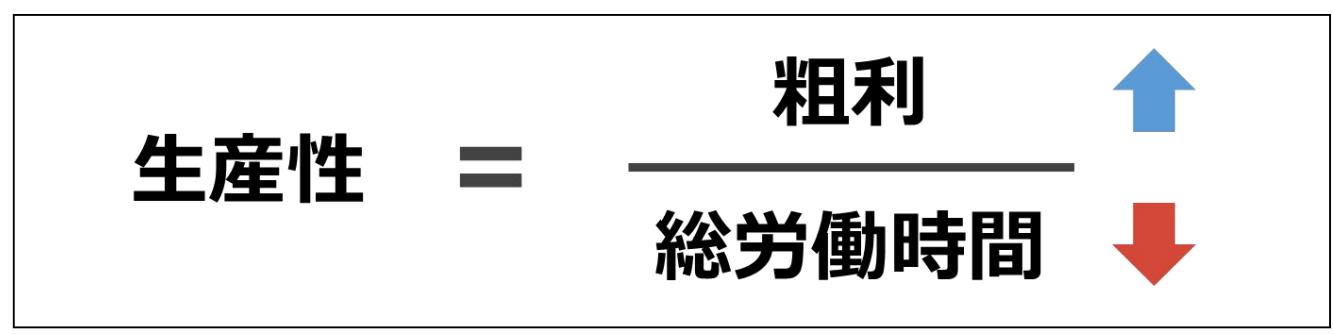
本記事では、工場・倉庫のDX化をテーマにご紹介します。

DXは、Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略です。簡単に言うと、デジタル技術によって事業を抜本的に変革することです。

背景には、製造業・物流業界の深刻な“ヒト不足”があります。今まで通りの方法では、ヒトが採用できず、定着も成長もしません。

生産性の向上 = 粗利 ÷ 総労働時間の関係になります。粗利を増やし、総労働時間を減らすと生産性は向上します。

上記を踏まえると、現場のDX化等を推進し、労働者の不足を解消していくことが求められています。



工場・倉庫のDX化に向けた具体的な取組みは？

工場・倉庫のDX化では、①現場DX化と②バックオフィスDXに分けられます。

①は業種業態によって様々ですが、②では、ビジネスチャット/人事管理ツール/出退勤管理ツール/RPAツール/遠隔管理ツール/電子署名/オンラインデータ管理/基幹システム/MAツール/リモート会議/名刺管理/データ分析などが挙げられます。

人が行う単純な定型作業などを自動化することで、大幅な業務の効率化も期待できます。

行政のDXに向けた人材育成支援

経済産業省では、DX人材を育成するために、ポータルサイト「[マナビDX](#)」や「[DX認定制度](#)」を展開しています。

国家資格となる[情報処理技術者の資格・試験制度](#)<（独）情報処理推進機構>の取得に向けて、費用負担や取得奨励金、資格手当を行う企業も増えています。

DX化に向けて、企業では、これまでの工場・倉庫の技術者人材とは異なるDX人材の獲得にも動いています。

既存の社員の大多数がIT資格を取得するよう目標数値も掲げています。

ぜひ、貴社でも、個人1人1人の作業効率アップを図るとともに、会社全体でDX化の取組み発信を行い、先駆者メリットを得ていただければと思います。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはこちら



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

（お問合せ窓口：牟田、高村）

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで